

シリーズ
環境企業訪問2

社会的責任の遂行を両立させる。

環境活動を通して、ビジネスと



本社：京都市中京区西ノ京桑原町1番地
TEL：(075)823-0077 (本社お客様相談室)
URL：<http://www.shimadzu.co.jp/>
拠点：九州、名古屋、横浜、北関東、神戸、つくば、
広島、東北、札幌、四国、静岡、北米、欧州、
中国アジア・オセアニアなど
設立：大正6年9月
資本金：約266億円
従業員数：8,427名 (2005/09/30現在)



創業明治8年、「科学技術で社会に貢献する」を社是に掲げる島津製作所。現在の業務内容は研究開発、製造、販売、保守サービスなど、多岐にわたっており、事業展開分野は計測機器、医療機器、航空、産業機器。また、環境負荷低減装置の開発で培った環境への意識はハード面だけにとどまらず、技術支援や環境教育など外部に対する環境活動支援に代表されるソフト面にも応用されています。そのオリジナリティあふれる取り組みについて、お話をうかがいました。

本業を主体とした環境活動

環境マネジメントを進めるなかで開発された環境負荷低減装置を、各種製品に活用することで、産業全体の環境負荷低減に貢献。また、ISO認証取得の支援サービスも展開しており、その一環として、環境影響評価を支援するコンピュータソフトウェアや、中水利用システム、水質汚濁防止法・下水道に基づく排水規制の有害物質を監視する水質連続モニターなどを提供しています。ソフト面では、1999年12月に、社員への環境教育の啓発を目的とした「え～こクラブ」という環境活動チームを結成。女性社員中心にメンバーを構成、女性独自の視点や感性を生かし、職場だけでなく日常生活における環境問題にも取り組んでいます。双六など子どもたちが遊びながら環境について学ぶことができる教材を開発したり、社内屋上緑化を立案・運営したりと、自立的かつ積極的な活動が推進されています。



取材当日、大瀬潤三・地球環境管理室長から社内に設置された環境負荷低減装置について説明を受ける

外部への環境活動支援

「環境の環を広げることが重要」とおっしゃるのは、大瀬潤三・地球環境管理室長。その言葉どおり、自社の環境活動担当職員を講師として社外に派遣し、「環境セミナー」を実施。内容は、ISO-14001認証取得支援セミナーから、環境経営、グリーン調達、EU指令とその対応など多岐にわたっています。98年にスタートした後、国内外の大学、NPO、ベンチャー企業、行政、工業会、顧客、市民、小中学校などを対象に実施。これまでに約360回開講し、延べ1万7千人が受講しています。「この中の一割でも環境活動や事業展開につながるならば、結構すごいことだなと思います。またそれが島津にビジネスチャンスを与えるかもしれません」と、受講後の波及効果にも期待を寄せる大瀬室長。実際に、セミナー先が顧客になることもあるそうで、環境活動をきっかけに新しいビジネスに展開するというビジネスモデルができるつつあるようです。

環境教育は先行投資

環境セミナーの中でも特に小中学生を対象に行われるのが、「環境出前講座」。講師や「え～こクラブ」のメンバーが小中学校に出向いて、地球環境についての話と、空気・水・土など身近な環境を調べる実験を行っています。府外から訪れる修学旅行生が、京都滞在中の研修に同社を訪れるケースもあるそうです。

また、府内の高校・大学生をインターンシップとして適時受け入れたり、府内の教員を10~12月の3ヶ月間受け入れて環境実習を体験してもらったりしています。「短期的に見ると大した成果がないように思われるかもしれません。でも中長期的に見れば、私たちの働きかけに啓発された子供たちが大きくなり、島津のお客さんや、あるいは優秀な社員となるかもしれない。環境問題には様々な側面があり、八方よしとすることは困難ですが、“環境教育は将来のビジネスのための先行投資”ぐらいに明るく前向きに取り組んでいきたいと思っています」との言葉に、ビジネスと社会的責任の遂行を両立させることの実現可能性を見た思いがしました。



え～こクラブの活動の中で制作した「エースちゃんのエコライフ」ゲーム。希望者には送料負担で配付している。詳しくは島津製作所HPで。

[環境データ]

島津製作所の
環境マネジメントシステム

- 【1】事業活動に伴う環境負荷低減
 - 省エネルギー 電気使用料04年度実績（対95年度）96万KWh削減 3.3%減
 - 水道水使用量 水道水使用量04年度実績（対96年度）198千立方メートル削減 46%
 - 廃棄物削減 排出量、リサイクル率04年度実績（対96年度）排出量24%減 リサイクル率98%
 - 梱包材料の段ボール化 70機種
 - 環境配慮製品の創出 省エネ製品25機種、鉛フリー半田、環境貢献製品開発42機種
- グリーン調達 事務用度品72%、主要材料16%グリーン化、外注のISO-14001等認証取得27社
- 化学物質管理 フロン、トリクロレン全廃、無害化設備導入、化学物質総合管理システム開発
- 設備投資 環境監視設備、浄化設備強化
- 【2】技術開発の促進 計測分野が売上全体の50%以上を占め、そのうち環境分野が50%以上で増加傾向
- 製品群 大気・水質・土壤分析装置、残農薬分析装置、有害物質分析装置、浄水場監視・制御装置、バイオ発電監視・制御装置、中水化装置、排水処理装置、CO2固定化H2生成装置、受託分析、環境アセスメント
- 課題 簡易分析計の開発、環境配慮製品の創出
- 【3】外部の環境活動支援 技術支援 環境セミナー 町づくりセミナー 環境教育 ISO-14001やKES認証取得支援 行政との関係 工業会との関係 ベンチャー企業育成など